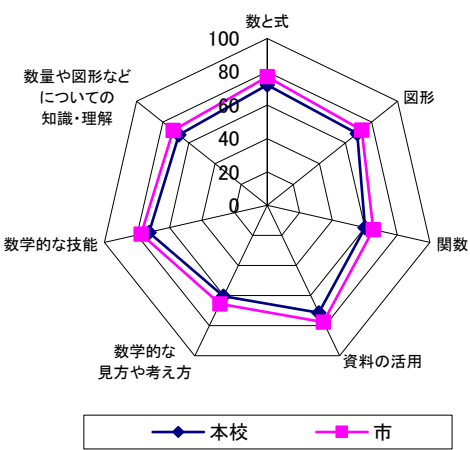


宇都宮市立田原中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	72.2	77.1	71.0
	図形	69.1	72.4	59.3
	関数	60.1	65.2	51.0
	資料の活用	71.4	77.6	67.1
観点別	数学的な見方や考え方	60.5	65.5	48.8
	数学的な技能	72.6	77.5	69.8
	数量や図形などについての知識・理解	67.7	72.1	61.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○他の自治体と比べると正答率は1.2ポイント上回っている。 ●市と比べて本校の正答率は4.9ポイント低い。特に式の展開と平方根については、市と比べ10ポイント以上低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの 基本的な計算問題は解くことが出来ても、やや複雑な計算となると、間違える生徒が多い。四則演算の優先順位を再度確認するとともに、文字式の復習に力を入れていきたい。
図形	○他の自治体と比べると正答率は9.8ポイント上回っている。特に平面図形や空間図形の性質を問う問題については、市の平均を上回っている。 ●市と比べて本校の正答率は3.3ポイント低い。特に図形の証明については、市の平均を8.3ポイント下回っている。	平面図形と空間図形において、基本的な内容は理解できている。論理立てて考えなければいけない証明問題については、苦手意識を持つ生徒が多いため、時間をかけ丁寧な指導を心がけていきたい。
関数	○他の自治体と比べると正答率は9.1ポイント上回っている。特に文章問題を読み取り、問題文中のxとyの関係を表すグラフを選ぶ問題については、市の平均を上回っている。 ●市と比べて本校の正答率は5.1ポイント低い。特に記述式の問題では、市の平均を8.1ポイント下回っている。	自分の考えを記述することに関して、苦手意識がみられる。授業の中で、話し合う活動や自分の考えを伝える活動を意図的に取り入れ、考える力を育てるとともに、自分の考えを表現する力を育てていきたい。
資料の活用	○他の自治体と比べると正答率は4.3ポイント上回っている。特に確率を求める問題については、市の平均を上回っている。 ●市と比べて本校の正答率は6.2ポイント低い。特に相対度数や最頻値を求める問題については、市の平均を10ポイント以上下回っている。	身近な題材を取りあげることで、興味関心を高めたい。入試の過去問に焦点を当てた問題演習ではなく、今後の生活で活用できる内容を中心に、正確な理解ができるよう指導していきたい。